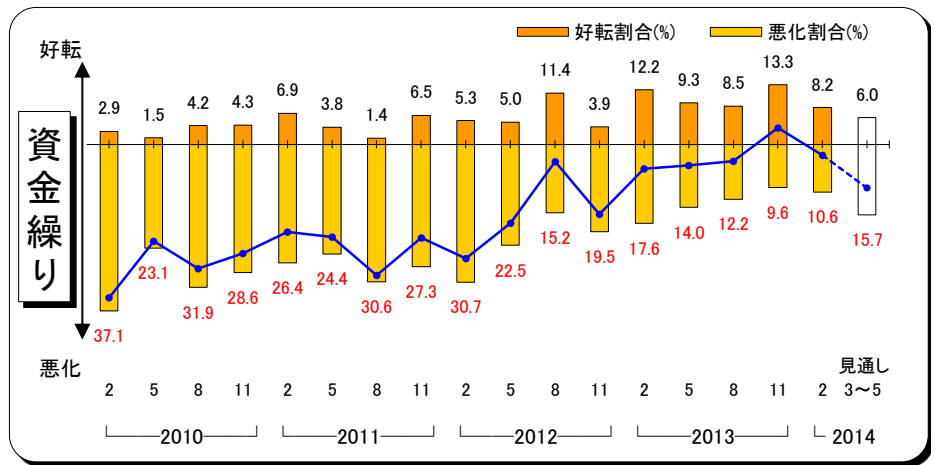
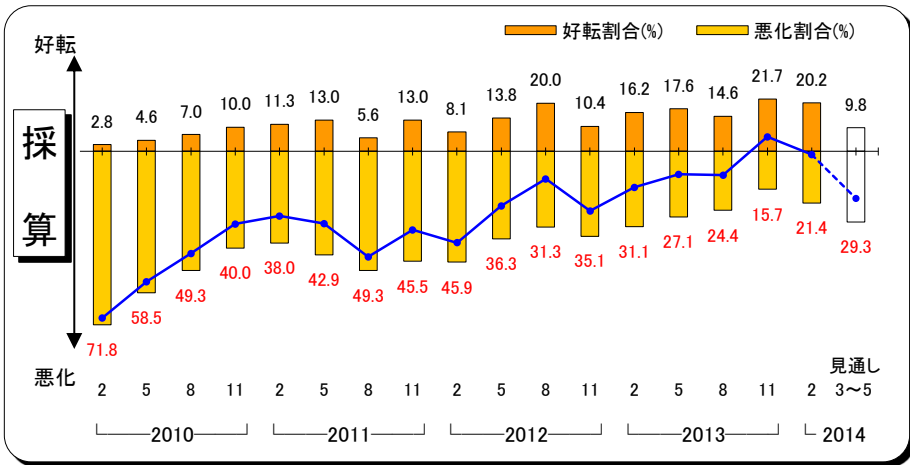
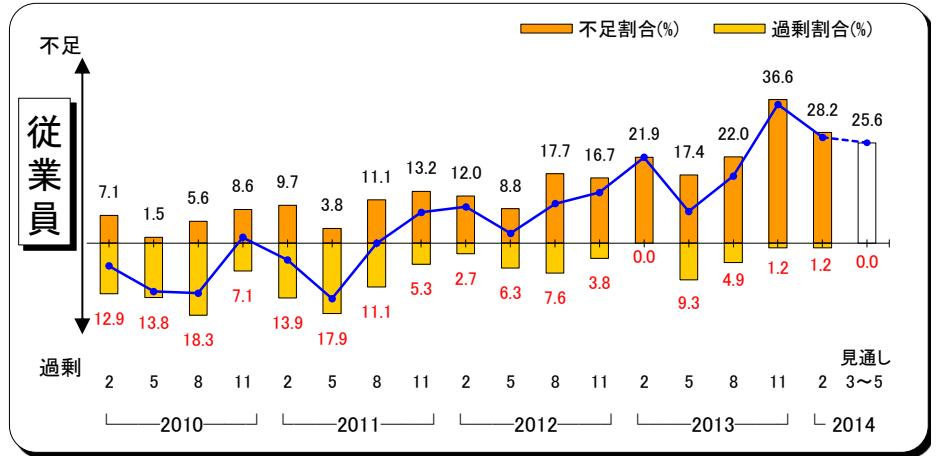
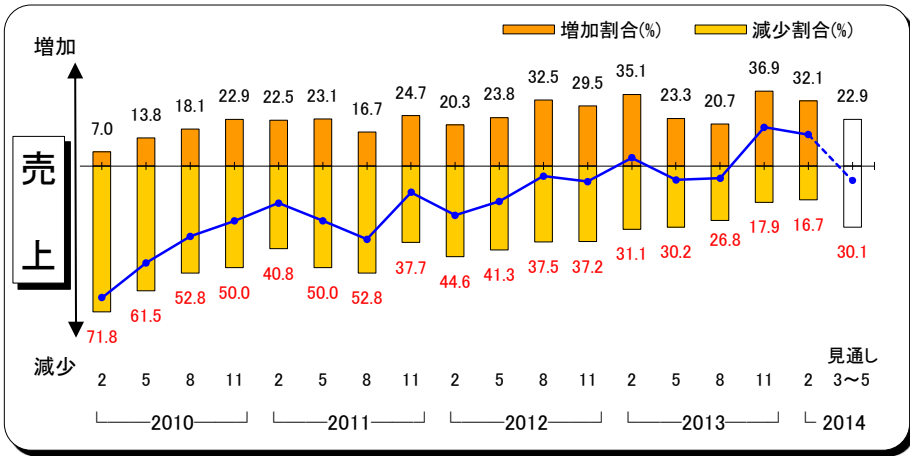
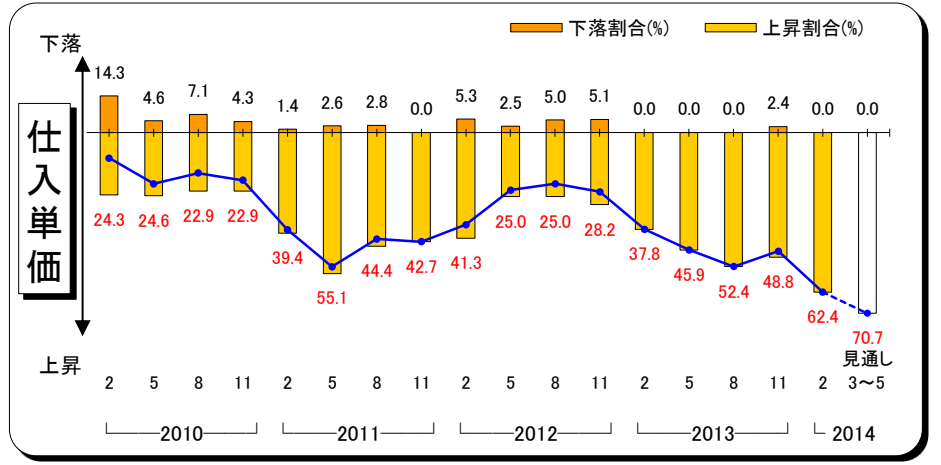
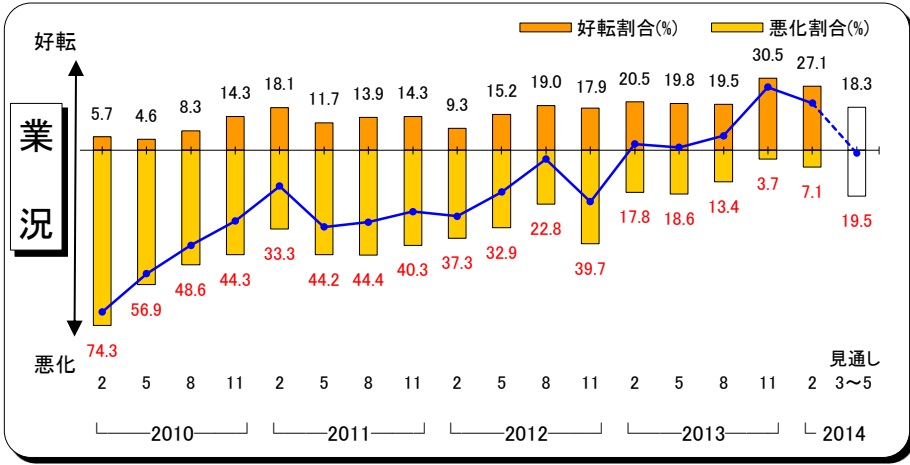


# 【建設業】①



## 【建設業】②

### 企業の声（順不同）

土木建築工事業	千葉県・千葉市の大型案件がない。県・市の投資を望む。
土木建築工事業	仕入価格の動向、受注単価・販売価格の動向を注視している。
土木建築工事業	建設労務費の高騰、資材費等の高騰、及び従業員不足から入札を控えることが増えた。
土木建築工事業	建設業で働く若年入職者の減少が続いている原因の中に、法令上の義務があるのに最低限の福利厚生すら確保されていない企業が多数存在していることが挙げられますが、公共工事の大元にある国土交通省による大胆な改革が行わなければ、近い将来災害対応やインフラの維持・更新に支障を及ぼす恐れが多大にあると思います。労働条件についても、すべて3月末に無理でも完了という発注を変えていかなければ、何年経っても同じ事の繰り返しです。民間工事の発注も無理な工期設定が多くあり、週48時間労働も実質不可能な状況です。また、地方の工事まで大手業者が落札し、地元中小企業が受注できないような状況です。
土木建築工事業	仕入価格の単価上昇に対し、消費の値上げが一番望まれます。
造園工事業	原発に関する情報が正確に一般の人に伝わらないので、情報が少ない中でどのような判断をすれば良いか、この先も難しい選択をしなければならないと思うと、今後の景気にもあまり期待が持てない。
とび工事業	工事の受注に伴ってベースアップを図りたいのですが、実際に可能かはわかりません。今後の動向に期待します。
内装工事業	今後、仕入価格の上昇が懸念されます。契約に近づいている現物もありますが、なかなか契約が出来ない状況です。（他業種とも相談して動いています）
内装工事業	職人不足で困っております。
防水工事業	小さな工事施工会社の性格上、仕事の量が増えても、こなせる量に限度があり、採算的にはそれ程変わらない。社会保険に加入し、会社の負担が増えている状態で賃金を増やすことができるのか不安。工事単価は変わらない。
電気工事業	オリンピックに向けて、景気は良い方向に向かうと思います。展示会も増えて来ると思いますし、建設業の業況も上昇すると思います。幕張周辺は有名大型店の出店効果で人がたくさん集まり、消費も多くなり、経済効果も良い方向に向かっていると実感します。
電気配線工事業	仕入価格の動向を見守っている。
電気通信工事業	地域経済や地域産業の新たな動きに注目している。
管工事業	やはり、消費税率引き上げによる反動がどうなるか不安です。
管工事業	設備投資は機械等の更新を行い、給与等は定期昇給にとどめる。材料代の値上げをとどめる事は出来ない事から小幅な昇給となる。また、消費税率引き上げに伴う仕入価格の上昇が売上単価に繋がらないため圧迫を受ける。
管工事業	地域経済や地域産業の新たな動向、雇用・賃金の状況に注目している。
冷暖房設備工事業	建設業界は、全体的に発注が増えていると思います。傾向としては、技術者・技能者ともに不足しています。公共事業については年間通しての発注平準化を望みます。
給排水・衛生設備工事業	年度末のためか、多少好転すると思われそうですが、先行きの見通しは全くわかりません。